

SSL

Smart Smile Letter

2025.06.02

Vol. 10

©2025 HOKURYO DENKO Co., Ltd.

REBORN TOYAMA — p1

北菱電興富山支店が生まれ変わりました！

金沢工業大学と北菱電興、コーオペ教育を広げる。 — p2

社内での活動の広がりを追う！

Hokuryo Woman — p3

北菱電興で働く女性社員にインタビュー

S-mileを見る！ — p3

情報サイトの運営者と営業担当者にインタビュー

ホクリョウQuestion — p4

#仕事をする上でのモットーは？

SSLの活動をご紹介します！ — p4

社内報の編集から完成まで

表紙写真提供

開発二部 松田啓さん



REBORN TOYAMA

2025年春、
富山支店が
生まれ変わる！

北菱電興 富山支店が移転しました。
2025年4月30日より新社屋での営業をスタート。
新・富山支店の魅力をご紹介します！

「人と人とが
繋がる事務所」
がコンセプト！

社屋の老朽化や駐車スペースの不足などの理由から、社屋の移転計画がスタートしました。新社屋の設計にあたり、富山支店内でプロジェクトチームを結成。管理職だけでなく若手社員も加わり、社員がワクワクする社屋づくりを目指して議論を重ねてきました。「人と人とが繋がる事務所」をコンセプトにフリーアドレスを採用し、カフェコーナーが設置されました。他にも斬新なアイデアがたくさん飛び交ったそう…！社員の想いが詰まった新社屋となりました。

富山支店の成長に今後ともご期待ください！

オフィスツアー

1 エントランス



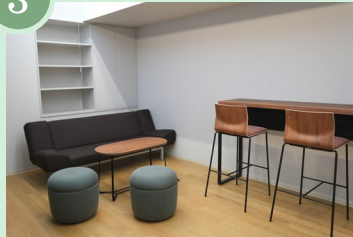
「HOKURYO」のロゴが皆様をお迎えします。

2 応接室



腰への負担が少ない椅子で、ゆっくりとお話ができます。

3 休憩室



気分が優れない時にはソファベッドで横になることができます。

4 会議室



部屋の仕切りを取り払うことで、災害時の避難所として使えます。

5 カフェスペース



木の温かみが感じられ、ほっと一息つけるスペースです。

6 作業スペース



窓が多く、明るい営業室。フリーアドレスを採用しています。

7 空調設備



営業室には床吹出空調を採用。効率よく快適に空気を届けます。

8 太陽光発電



北菱電興のイニシャルである、「H」の形に設置されています。

プロジェクトチーム メンバーからのメッセージ

新社屋への想いや、これからの意気込みを
教えていただきました！

中林宗夫さん

常に整理整頓を心がけ、いつでもお客様にお見せできるような綺麗な状態を維持していきたいです。

谷口孝博さん（リーダー）

3回目の新築移転となる富山支店。今後の継続的な成長のため、「創意工夫」の社是のもと業務に励みます。

山口真優さん

移転をきっかけに、部門を問わずさらに連携の取れた仕事環境を実現したいです。
Try the next 富山支店！

場家栄治さん

キレイで風通しの良い新社屋で、富山チームは今まで以上に連携パワーを強化し、発展していきます！！

中本恵悟さん

働きやすい環境づくりを第一に考えました。新しい環境で社員一丸となり、富山支店をさらに成長させましょう！

酒井満男さん

若手社員の皆さんを中心に、既存の概念に縛られない新しいオフィスのあり方を作り上げてほしいと思います。

肥田美穂さん

プロジェクトに携わることができて光栄です。休憩室のレイアウトやサニタリースペースには女性社員の要望が取り入れられています。

【新住所】

〒930-0151 富山県富山市古沢780-1 (呉羽南部企業団地内)

当社YouTubeにて、新社屋のドローン撮影動画を公開しています！
YouTubeは右のQRコードから▶



©2025 HOKURYO DENKO Co., Ltd.

北菱電興と 金沢工業大学、 コーオプ教育を広げる。

コーオプ教育
特集 第3弾

コーオプ教育とは？

コーオプ教育とは、教育機関と企業の産学連携プログラムのこと。北菱電興と金沢工業大学（KIT）とのコーオプ教育は、2020年よりスタートしました。学生が北菱電興の「社員」として社内の課題解決に取り組むことで、学生と社員が互いに知識や経験を共有し合える貴重な学びの場です。



▲ 旭丘コーオプ教育 関係者の集合写真

（左から：KIT 渡邊教授、北菱電興 川端さん、宮下さん、山口さん、島本さん、KIT 学生 上月さん、北菱電興 西尾さん、KIT 伊丸岡教授）

2024年10月より当社開発センター（旭丘工場）を舞台とした旭丘コーオプ教育が始動！
本記事では旭丘コーオプ教育の活動を見守ってきた酒元さんと塩田さん、そして活動の中心メンバーであった上月さん、山口さん、川端さんにお話を伺いました。

■ コーオプ教育を他事業所にも広げたいきっかけ

今までの旭丘コーオプ教育は当社いなほ工場を拠点に活動しており、それによる社内の良い変化を感じてきました。今回新たな活動拠点となった開発センターは社員数が多く、より濃い文化が形成されています。社員が学生や教授などの社外の方々と関わることは、改めて会社を見直すきっかけになります。既存の文化に新しい風が吹き込み、さらなるイノベーションが起きることを期待して、開発センターでもコーオプ教育を始めることにしました。

開発事業部
塩田 裕さん



企画本部／
酒元 一幸さん

■ コーオプ教育への想い、期待すること

塩田さん：若手社員、課長、学生、教授など年代や役職が多様で、異なる価値観を持つメンバーが同じチームで活動したことに意義を感じます。従来の考え方に捉われてしまう傾向がある中、「社外の刺激に触れること」は新しい視点を取り入れられる非常に貴重な活動です。今回は心理科学科の学生と教授から刺激をいただき「雰囲気改善」というテーマに向き合うことができました。現時点では成果が数字として表れているわけではありませんが、間違いなく旭丘工場がよりよくなるきっかけになると手ごたえを感じました。

酒元さん：コーオプ教育は「それぞれが持つ力をいかに発揮していくか」という大きな課題に向き合う取り組みの一つです。実際に今回のコーオプ教育に参加した社員の通常業務における姿勢や行動には変化が現れています。社外との活動から刺激を得て、価値観の幅や視野を広げていく。このような無形の価値を生み出すことで、おのずと生産性の向上に繋がっていくという大きな期待感を持っています。

旭丘コーオプ教育 活動メンバーの想い

2024年10月から2025年3月の報告会まで6名のメンバーが活動を推進してきました。これまでの活動を振り返っての感想を代表者3名にお聞きしました。



▲ 活動の様子



開発1部 管理課 山口 拓也さん

心理科学科の学生さん、先生方と共に活動したおかげで、専門的な知識を深めることができました。また学生さんとの活動を通じて、社会人としての責任感やコミュニケーションの大切さを再確認する機会にもなりました。



開発1部 管理課 川端 亜希子さん

普段関わることのない学生さんや先生方と交流する中でいただいた心理学的なご意見は、自分にはなかった発想も多く、新たな視点を取り入れることができました。なによりポジティブな活動に参加することが自体が楽しかったです。



（参加当時） 情報フロンティア学部 心理科学科 4年 上月 杏純さん

コーオプ教育への参加を決めた理由は？

コーオプ教育は、授業の単位が取得でき、さらに社会人としてのスキルや知識を身につけられるのではないかと興味を持っていました。自分自身が成長でき、今後に繋がりそうな良い機会であると考え、参加を決めました。

活動を通してうまれたSmileなことは？

コミュニケーションの回数を重ねることや、全員が1つの目標に向かって取り組むことで、チーム内の信頼関係を築くことができると学びました。活動メンバーの方とプライベートな会話ができるほど親しくなれたことが嬉しかったです。

学生に向けて一言メッセージをお願いします。

コーオプ教育プログラムの活動は決して楽ではありません。しかし、参加して絶対に損はありません。学生生活では経験できないことや学びになることがたくさんあります。参加を迷っている方は、チャレンジしてみることをおすすめします！

◆ コーオプ教育について特集した過去の社外報

第1弾：座談会企画（KIT×北菱電興）（Vol.4）

第2弾：KIT WACE IRS 2022に登場！（Vol.5）

社外報 バックナンバー



金沢工業大学HPにて、旭丘コーオプ教育の報告会をご紹介します。記事はこちらから▶



当社のnoteでは、旭丘コーオプ教育の活動の「雰囲気」をご紹介します。記事はこちらから▶





営業職編



当社ではたらく女性社員をご紹介します。
今回は冷熱システム部で営業活動に励む
辻岡さんと北川さんにお話を聞きました！

仕事でうまれた「Smile」を教えてください。

以前、空調機を納品した温泉施設にプライベートで宿泊する機会がありました。お部屋に設置された空調機のまわりには木枠の装飾が施されていて、空調機が素敵な空間の一部となっていました。それを見てとても感動したのを覚えています。どの現場も完了するまでは大変ですが、実際に使われている様子を見ると嬉しいです。お客様との交流や会話も楽しく、充実した日々を過ごしています。

仕事とプライベートを両立させるコツを教えてください。

営業職になった当初は仕事に追われ、なかなかプライベートを優先できませんでした。今は仕事に慣れ、子供との時間を大切にできています。小まめに学校や習い事の予定を確認し、前もって仕事のスケジュールを調整しています。4つの習い事をしてきた時期は大変でしたが、まわりの助けもあり、なんとか乗り越えられました。子供の頑張る姿を自分の目で見たいので、大会には必ず行って応援をしています！

辻岡里奈さん

2007年新卒入社。当社機器部で営業事務を経験後、2020年に冷熱システム部の営業に異動。



冷熱システム部 営業職

三菱電機冷熱住設代理店として、三菱電機製の空調機器や冷凍冷蔵機器などを販売。客先への訪問や見積の作成などの営業活動を担当します。お客様への納品がスムーズにいくよう、空調機取付工事の立会いなどのサポートもしています。>>詳しい事業内容は[当社ホームページ](#)へ



仕事の様子

仕事でうまれた「Smile」を教えてください。

お客様から「エアコンのおかげで快適になった」との言葉を聞いた時に喜びを感じます。空調機を納品した飲食店などにはプライベートで何うことも多いです。営業活動を通して様々なお客様との繋がりができる点もこの仕事のやりがいの一つですね。展示会や工場見学などのイベントでは、お客様に三菱製品の魅力を伝えようと頑張っています。ご提案した製品を採用いただけた時はとても嬉しいです。これからも三菱ファンを増やすため、力を尽くします！

仕事とプライベートを両立させるコツを教えてください。

複数の案件が重なる時は大変ですが、部署のみなさんと助け合いながら乗り越えています。タスクに優先順位をつけ、確実にこなすように心がけています。悩んだ時は女性社員同士で相談することが多いですね。休日を充実させるコツは、朝早い時間からアクティブに過ごすことです。家族と一緒に動物園や水族館に出かけてリフレッシュしています。

北川めぐみさん

2021年中途入社。前職で人材業界の営業を経験。入社当初は空調機器関係のPRや営業補佐を担当。



s-mile₃を見る！

s-mile.jpとは？

生産現場をより良くしたい想いをもつ人と、技術やエンジニアを繋げることで、共創の場を広げていくことを目指すWEBサイトです。



機器部
松岡夏美さん・宮本達矢さん

サイトの運営担当お二人のSmileは？

宮本さん：Webサイトの運営技術に触れたことですね。サイトの運営に向けて、プロのデザイナーさんと対話できるプログラムに参加した際には、刺激を受けました。商材を深堀し、どうやったら理解を得られるかを考えることに、技術者として面白さを感じました。デザイン思考を取り入れることで視野が広がりました。

松岡さん：今まで自分が作成した文章を発信し、読んでもらうという経験がありませんでした。読者層に合わせた表現にすることを意識し、かみ砕きすぎず、難しい用語を適切に使い作成しました。これを機に思考の整理ができました。また、サイト内には「いいね」機能があるので、反応があった時はやっぱり嬉しいですね。

当社機器事業部が運営する情報サイト「s-mile.jp」ではDX・GX導入に役立つ技術情報や活用事例を紹介しています。サイトの運営担当である宮本さん・松岡さんと、営業担当の佐野さんにインタビューしました！

Pick up!

s-mile.jpからイチオシソリューションのご紹介！

“S-mile(ミル)”

生産ロス改善をサポートするデータ収集・可視化ソリューション。複数の装置の稼働状況をリアルタイムで確認することが可能！装置に異常が発生した際には、装置近くに設置した小型デバイス进行操作することで、メンテナンス状況を反映します。

営業担当のSmileは？

工場で数十台の機械をお一人で管理されているお客様に本サービスをご提案しました。「装置の異変がぱっとみて分かるようになり、助かった」と、お言葉をいただいたときは嬉しかったですね。



機器部
佐野雅也さん

お問い合わせは
こちらまで

s-mile.jp
お問合せフォーム



北菱電興 機器事業部
☎ 076-269-8513

アイデアで製造現場に「色」を加える

無機質になりがちな製造現場ですが、オリジナリティを加えることで、見て楽しい＆働きやすい工場づくりにつながると考えています。

【30代/中途入社/生産管理職/男性】

相手の本当の目的に、 寄り添って仕事をする

相手の目的・意図を理解し、それに寄り添って構想や提案をすることで信頼を得られます。

【30代/中途入社/技術職/男性】

視点を変えてみる

1つの物事でも、別の面からは全く違うモノに見えることがあります。部門・世代・役職・役割・立場などが異なる様々な方と関わるがあるので意識しています。

【40代/中途入社/事務職/女性】

何事もまずはやってみる

経験すること、その仕事の意味や大変さを理解することで、その経験が必ず次に繋がります。「経験に勝るものなし」です。

【50代/中途入社/施工管理職/部長/男性】

何事に関しても、まず知る、 また知ろうとする姿勢が大事

自身の業務に直接関係ないことでも「ただ知っている」というだけで、業務や改善活動を進める時の選択肢が増えます。複数の知識を組み合わせ、応用することで、より効率的に仕事を進められます。

【40代/中途入社/倉庫内作業職/男性】

「次工程はお客様」

社内の主任研修で学んでから、この精神で仕事をしています。お客様だけでなく社員からの好印象・好評価を持ってもらえることが多いです。

【40代/新卒入社/事務職/課長/男性】

長期的な視野を持つ

目の前のことが上手くいかない時こそ、長い目で見ればそれが「将来の何か」に必ず繋がっていると捉えることを大切にしています。

【20代/新卒入社/営業・企画職/女性】



さまざまな年代、職種、役職、拠点の社員10名にアンケートをとりました。リアルな声をお届けします！

今回のテーマ

#仕事をする上でのモットーは？

「点滴穿石」

小さな努力も積み重ねていくことで大きな成果に繋がります。毎月の訪問を地道に続けたことで、お客様に信頼していただけて案件に繋がった経験があります。

【30代/中途入社/営業職/男性】

社内外ともに「コミュニケーション」

立場や考え方がそれぞれ違う中で、相手の話をしっかり聴き、自分の意見をはっきりと述べるのが大切だと考えています。

【50代/新卒入社/営業職/副本部長/男性】

難しいと思ってもやってみる

苦労して得た知識は忘れません。特殊な注文を受けた際には、カタログを調べ、客先によく確認したことで、その後の仕事にも役立ちました。

【50代/新卒入社/事務職/女性】

SSLの活動をご紹介します！

SSLは「人と人との繋がりをつくり、関わる人たちに活力をもたらす」社員みんなの“SSL”をビジョンに掲げ、社内報、社外報の企画・作成に取り組んでいます。メンバーは部署を問わず有志で参加しており、特に若手社員が中心となって活動しています。メンバーならではの視点から、卒にとらわれない自由な発想を大切にしています。

社外報6号でご紹介した「社内報ができるまで」より、最後は...

“編集”と“完成”を Pick Up !

社外報7号でご紹介済み

社外報9号でご紹介済み

✓ コンテンツ決め

✓ 記事打合せ

✓ 取材

★ ★ 編集

★ ★ 完成

Step.1 構成検討

割り当てた記事スペースの中で、写真や文章をどのように配置するか構成を練ります。自然に視線を動かせる、読みやすいレイアウトを意識しています。

Step.2 編集

MicrosoftのPublisherを使用し、記事を編集します。記事作成にご協力いただいた方の想いが更に伝わるよう、記事の内容に合うイラストやフォントを選んでいます。

Step.3 確認

SSLメンバー、取材協力者、広報グループという順番で、編集した記事の確認を依頼します。正しい情報発信とリスク管理のために、多くの方にチェックしていただいています。

Step.4 最終調整

社内公開前に、SSLメンバーにてデザインや表記の最終チェックと調整を行い、記事が完成となります。どんな反応を頂けるか楽しみです！

Step.5 社内公開

毎月の最終営業日に社内WEBにて公開するとともに、閲覧数の確認も行っています。毎月多くの社員の皆さんに読んでいただいています。

社員の方から直接
フィードバックをいただける
ことがモチベーションに
繋がっています！

2025年5月末で
65号発行しました！



表紙の写真は
社員の方からご提供
いただいています

これからも活動を通して
Smileをお届けしていきます！

